



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

東

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	54,242	9.0	2,173	△0.1	2,535	31.1	1,828	79.2
24年3月期第2四半期	49,754	6.3	2,175	△18.8	1,934	△21.0	1,020	△11.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,787百万円(27.7%) 24年3月期第2四半期 1,399百万円(64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	37.39	—
24年3月期第2四半期	20.40	19.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	102,645	62,042	60.4	1,274.48
24年3月期	99,174	60,805	61.3	1,241.73

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 62,042百万円 24年3月期 60,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	7.9	7,500	1.3	7,500	4.9	4,600	7.1	94.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	56,592,274株	24年3月期	56,592,274株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,911,619株	24年3月期	7,624,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	48,909,030株	24年3月期2Q	50,035,414株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成24年11月9日(金)に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要に加え、個人消費が堅調に推移したこともあって景気は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務問題や新興国の景気減速懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き顧客ニーズに合った商品展開、サービスレベルの向上、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54,242百万円（前年同期比9.0%増）となりました。一方で営業利益は原価率の上昇により2,173百万円（同0.1%減）となりました。また、経常利益は、前年同期に計上した為替差損がなくなったことなどにより2,535百万円（同31.1%増）となり、四半期純利益も1,828百万円（同79.2%増）となりました。

[総合通販事業]

夏物が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は35,695百万円（同8.3%増）となりました。一方でセグメント損益は、残暑の影響などで媒体効率が悪化したこともあり206百万円の損失（前年同期はセグメント利益211百万円）となりました。

[専門通販事業]

化粧品、看護師向け事業に加えて、健康食品、グルメ事業でも堅調に売上を伸ばしたことにより、売上高は10,748百万円（同5.8%増）、セグメント利益は600百万円（同103.6%増）となりました。

[ソリューション事業]

大口クライアントの取引縮小があり、封入・同梱サービスは新規先でカバーしたものの、通販代行サービスが苦戦したことにより、売上高は2,001百万円（同3.5%減）、セグメント利益は819百万円（同7.5%減）となりました。

[ファイナンス事業]

不動産担保金融事業と国内消費者金融事業で営業貸付金残高は減少したものの、貸付金利が比較的高い韓国消費者金融事業で営業貸付金残高が伸びたことにより、売上高は1,418百万円（同2.5%増）となりました。一方でセグメント利益は、貸倒引当金の戻り益が前年同期と比較して大幅に減少したことなどにより237百万円（同27.4%減）となりました。

[プロパティ事業]

販売用不動産の売却により、大幅な増収増益となり、売上高は1,315百万円（同130.9%増）、セグメント利益は367百万円（同125.6%増）となりました。

[その他の事業]

アパレル卸事業を展開しているフレンドリー㈱並びに和装の店舗展開を行っている㈱BANKANが順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は3,252百万円（同14.9%増）、セグメント利益は296百万円（同33.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は59,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,036百万円増加いたしました。これは主に販売用不動産及び仕掛販売用不動産が520百万円減少した一方で、商品及び製品が2,838百万円増加したことによるものであります。固定資産は43,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,434百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が2,093百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は102,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,471百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は30,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,541百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,171百万円、未払費用が1,053百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は10,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が600百万円、利息返還損失引当金が221百万円それぞれ減少した一方で、リース債務が546百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は40,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,233百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は62,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,237百万円増加いたしました。これは主に自己株式を182百万円取得した一方で、利益剰余金が1,461百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は60.4%(前連結会計年度末は61.3%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ510百万円減少し、11,018百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は前第2四半期連結累計期間より37百万円減少し、2,450百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が増加した一方で、営業貸付金の回収が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は前第2四半期連結累計期間より8百万円増加し、1,529百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出及び有価証券の取得による支出が減少した一方で、投資有価証券の取得による支出が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は前第2四半期連結累計期間より1,686百万円減少し、1,428百万円となりました。これは主に借入金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予測につきましては、平成24年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した(株)ペルーナユナイテッドを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,959	13,083
受取手形及び売掛金	11,493	11,284
営業貸付金	14,273	15,099
有価証券	401	800
商品及び製品	9,848	12,687
原材料及び貯蔵品	997	687
販売用不動産	2,450	2,046
仕掛販売用不動産	858	742
繰延税金資産	586	634
その他	5,670	3,515
貸倒引当金	△1,246	△1,251
流動資産合計	58,292	59,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,258	11,083
機械装置及び運搬具(純額)	109	187
工具、器具及び備品(純額)	350	327
土地	16,429	16,809
リース資産(純額)	249	197
建設仮勘定	190	409
有形固定資産合計	28,587	29,015
無形固定資産		
のれん	230	164
リース資産	875	1,624
その他	2,893	2,607
無形固定資産合計	3,998	4,396
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379	4,472
長期貸付金	1,880	1,661
破産更生債権等	3,692	3,131
繰延税金資産	868	721
その他	1,786	1,763
貸倒引当金	△2,312	△1,847
投資その他の資産合計	8,295	9,904
固定資産合計	40,881	43,315
資産合計	99,174	102,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,852	16,023
短期借入金	2,560	2,611
未払費用	6,319	7,372
リース債務	490	568
未払法人税等	1,056	611
賞与引当金	441	506
返品調整引当金	73	89
ポイント引当金	517	485
その他	1,408	1,990
流動負債合計	27,718	30,259
固定負債		
長期借入金	6,983	6,382
利息返還損失引当金	1,610	1,389
リース債務	371	917
退職給付引当金	276	256
役員退職慰労引当金	219	222
資産除去債務	449	458
その他	739	716
固定負債合計	10,650	10,343
負債合計	38,369	40,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	49,761	51,223
自己株式	△9,456	△9,639
株主資本合計	61,915	63,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	67
為替換算調整勘定	△1,190	△1,218
その他の包括利益累計額合計	△1,110	△1,151
少数株主持分	0	0
純資産合計	60,805	62,042
負債純資産合計	99,174	102,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	49,754	54,242
売上原価	21,633	23,743
売上総利益	28,121	30,499
返品調整引当金繰延差額	26	16
差引売上総利益	28,095	30,483
販売費及び一般管理費	25,920	28,309
営業利益	2,175	2,173
営業外収益		
固定資産税還付金	—	150
その他	374	417
営業外収益合計	374	567
営業外費用		
支払利息	183	70
為替差損	322	—
デリバティブ評価損	39	73
その他	68	61
営業外費用合計	614	205
経常利益	1,934	2,535
特別損失		
投資有価証券売却損	75	4
投資有価証券評価損	41	54
特別損失合計	116	58
税金等調整前四半期純利益	1,817	2,477
法人税、住民税及び事業税	84	544
法人税等調整額	713	104
法人税等合計	797	649
少数株主損益調整前四半期純利益	1,020	1,828
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,020	1,828

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,020	1,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△12
為替換算調整勘定	319	△28
その他の包括利益合計	379	△41
四半期包括利益	1,399	1,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,399	1,787
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,817	2,477
減価償却費	1,097	1,082
返品調整引当金の増減額(△は減少)	26	16
のれん償却額	65	65
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△257	△467
賞与引当金の増減額(△は減少)	65	65
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2	△20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	2
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△136	△32
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△226	△221
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△62	—
受取利息及び受取配当金	△63	△110
支払利息	183	70
デリバティブ評価損益(△は益)	39	73
投資有価証券売却損益(△は益)	75	4
投資有価証券評価損益(△は益)	41	54
売上債権の増減額(△は増加)	△583	219
営業貸付金の増減額(△は増加)	681	△224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,569	△2,529
販売用不動産の増減額(△は増加)	14	520
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△635	162
仕入債務の増減額(△は減少)	1,756	740
その他の流動負債の増減額(△は減少)	998	1,580
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△0	△24
その他	△87	△118
小計	3,246	3,387
利息及び配当金の受取額	134	97
利息の支払額	△183	△69
法人税等の還付額	317	26
法人税等の支払額	△1,027	△992
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,487	2,450

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,477	△1,499
定期預金の払戻による収入	1,553	837
有価証券の取得による支出	△3,098	—
有価証券の売却による収入	3,999	1,965
有形固定資産の取得による支出	△55	△664
有形固定資産の売却による収入	—	7
無形固定資産の取得による支出	△261	△157
投資有価証券の取得による支出	△200	△2,289
投資有価証券の売却による収入	1	33
貸付金の回収による収入	58	247
差入保証金の差入による支出	△45	△19
差入保証金の回収による収入	2	2
その他の支出	△0	—
その他の収入	2	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,520	△1,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	200
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△2,011	△1,250
社債の償還による支出	△100	—
自己株式の取得による支出	△303	△182
配当金の支払額	△375	△367
リース債務の返済による支出	△280	△328
セール・アンド・リースバックによる収入	156	—
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,114	△1,428
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,143	△510
現金及び現金同等物の期首残高	17,607	11,529
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	43	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,507	11,018

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューシ ョン事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	32,905	10,131	1,931	1,384	569	2,831	—	49,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	29	141	—	—	—	△226	—
計	32,962	10,160	2,072	1,384	569	2,831	△226	49,754
セグメント利益	211	294	885	326	162	221	72	2,175

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳137百万円とのれん償却費△65百万円でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューシ ョン事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	35,639	10,746	1,869	1,418	1,315	3,252	—	54,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	1	131	—	—	—	△189	—
計	35,695	10,748	2,001	1,418	1,315	3,252	△189	54,242
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	△206	600	819	237	367	296	59	2,173

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳124百万円とのれん償却
費△65百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。